

予算規模等

《肉付予算》

令和5年度は、人件費及び扶助費、公債費などの義務的経費や継続経費については骨格予算として当初予算で編成しており、今回の6月補正予算では、新規事業や政策的経費及び投資的経費を中心に肉付け予算として予算計上しています。

会計区分	令和5年度			令和4年度 当初予算(D)	増減率(%) (C/D)
	現計予算(A)	6月補正予算(B)	合計(C)		
一般会計	2,031億 4,200万円	130億 円	2,161億 4,200万円	2,032億 6,000万円	6.3
特別会計	1,021億 8,300万円	2,300万円	1,022億 600万円	1,003億 300万円	1.9
水道事業会計	159億 1,600万円	34億 5,000万円	193億 6,600万円	185億 3,600万円	4.5
公共下水道事業会計	294億 3,900万円	9億 8,300万円	304億 2,200万円	268億 3,300万円	13.4
計	3,506億 8,000万円	174億 5,600万円	3,681億 3,600万円	3,489億 3,200万円	5.5

●新規事業	34事業	6億2,100万円
●拡充事業	9事業	14億1,300万円
		(8億9,000万円 増)
●普通建設事業費(当初+6月補正)	334億円	
		(対前年度比 57億円増 20.5%増)
●基金の活用	15億円	
●プライマリーバランス	28億円の赤字	

ひとが真ん中。



の主な取組

(単位：千円)

『政策集で掲げたマニフェストの事業化』

10事業 7,500万円 ※ マニフェスト 表記分

政策① ひとを守る まちづくり

安心・安全な医療・防災の先進都市をめざして

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 903,000
引き続き感染症の発生及びまん延の防止を図る
- 戸次地区防災拠点施設整備事業 30,000
災害救援物資の輸送拠点と緊急避難場所の機能を併せ持つ防災拠点施設を整備
- 災害予防対策伐採事業 5,000
倒木による道路通行支障や停電の防止のため森林整備を実施
- 避難所等環境向上事業 22,000
災害用トイレを追加備蓄し、被災者救援体制を強化
- 老人福祉施設等整備事業 94,518
高齢者施設等の防災・減災対策を推進するための施設整備に係る経費を助成

政策② ひとを育む まちづくり

妊娠・出産から子育ての先進都市をめざして

- 大分市にここ保育支援事業 マニフェスト 31,400
認可外保育施設の第2子以降の3歳未満児を対象に保育料を無償化(R6年4月開始予定)
- 市立保育所等おむつ処分事業 マニフェスト 4,346
使用済おむつの持ち帰りを無くし、保護者と保育士双方の負担を軽減
- 保育施設給付費等申請システム導入事業 12,500
電子化導入による事務の効率化で保育時間を確保・充実
- 医療的ケア児に対する移動支援事業 25,000
医療的ケア児の通学や通所の移動支援を行い、保護者の負担を軽減
- 小児慢性特定疾病児童等付き添い支援事業 560
長期入院に付き添う保護者に対し、宿泊施設の利用費を助成

- 市立認定こども園設置事業 102,000
幼児教育と保育を一体的に提供するため、(仮称)しんがすがまち認定こども園を設置
- 子育て短期支援事業(拡充) 21,000
児童養護施設2か所に専用居室の整備及び専任職員を配置し、受入体制を拡充
- 中学生学校給食費無償化事業 マニフェスト 6,000
中学生の給食費を無償化し、子育て世帯を支援(R5年度3学期開始予定)
- 子ども医療費助成事業(拡充) マニフェスト 4,000
子ども医療費の助成対象を高校生まで拡充し、子育て世帯を支援(R6年4月開始予定)
- 大分市奨学金拡充検討事業 マニフェスト 365
未来を担う若者の育成を目的に、新たな制度の導入に向けた調査・検討を行う
- 小中学校特別教室等空調設備整備事業 10,000
特別教室及び体育館への空調設備設置に向け、事業手法を検討する調査を実施
- 明治小学校施設整備事業 2,300
児童数の増加に対応するため、校舎改築や「ラクト」整備等、一体的に施設を整備
- 賀来小中学校施設整備事業 27,165
中学校校舎と小学校校舎を一体的に整備し、教育環境の向上を図る

政策③ ひとを支える まちづくり

「支えあい」であらゆる人が輝く都市へ

- パートナースHIP宣誓制度導入事業 マニフェスト 343
パートナースHIP宣誓制度を導入し、制度の周知・啓発を行う
- 行政評価制度再構築事業 マニフェスト 1,017
限られた財源の中で効率的な行政運営を目指すため、新たな行政評価制度を構築
- 介護認定調査システム導入事業 23,000
認定調査にタブレット端末及び電子調査票を導入し、業務を効率化
- DX推進事業 25,070
データ入力や文字読取等のロボットによる自動化を進め、業務を効率化

政策④ ひとを豊かに

いつまでも住み続けられるまちづくり

機能的で持続可能な都市へ

- 企業立地推進事業 1,456,554
本市における企業立地を促進し、産業の振興、雇用機会の拡大を図る
- 中小企業競争力強化支援事業(拡充) 50,000
小規模事業者等の販路開拓や業務効率化等の取組を支援
- 若手起業家育成事業(拡充) マニフェスト 16,000
創業に関心のある学生等の若年層をサポートする支援拠点を設置
- 水素エネルギー導入推進事業(拡充) マニフェスト 9,155
燃料電池自動車及び家庭用・業務用燃料電池の購入費を助成
- 省エネ家電購入促進事業 95,000
省エネ性能に優れた家電製品の購入費を助成
- 商店街エネルギー価格高騰対策等支援事業 40,000
商店街団体等に対する街路灯の交換など省エネ対策に係る経費を助成
- 宅配ボックス設置助成事業 4,000
既設の戸建住宅及び集合住宅に設置する宅配ボックスの購入費を助成
- 国産飼料利用拡大支援事業 17,500
耕畜連携による国産原料の飼料利用を拡大するために必要な機械の導入を支援
- 交通事業者事業継続支援事業 120,000
公共交通の維持など持続的な事業実施に必要な取組に対し助成
- スマートサポートステーション導入駅への人員配置 5,000
本年7月から導入される5駅に人員を配置し、利用者の不安を解消
- 歩きたくなるまちづくり事業 3,000
中心市街地の快適性向上のため、休憩ベンチなどを寄附等により設置
- 末広町一丁目地区市街地再開発事業 153,782
土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、中心市街地の活性化につなげる
- 普通建設事業
- 市道、河川、橋梁等の維持改良や公園などの公共施設、農道、ため池、漁港などの改修等、市内一円のインフラ整備など 8,081,361

政策⑤ ひとを元気に

新たな魅力が生まれるまちづくり

世界に開かれた芸術・文化・スポーツ都市へ

- おおいた物産・食・観光魅力発信事業 19,000
大都市圏での観光物産展や「たのうらら」と既存の道の駅との連携イベント等を実施
- ワークेशन推進事業 6,300
ワークेशनに関する滞在プログラムのモニターツアーを実施
- 着地型観光推進事業 3,200
産業観光の新たなツールとして、工場夜景クルーズのモニターツアー等を実施
- アーティストバンク推進事業 5,029
文化芸術の活動者や活動場所をデータベース化し、マッチングすることで活動を支援
- 高島キャンプ場整備事業 2,000
施設をリニューアルし、利用者の拡大を図る
- アーバンフェスタ開催事業 マニフェスト 2,000
身近で楽しめるアーバンスポーツのイベントを開催し、スポーツの新たな魅力を創出
- 駄原総合運動公園テニスコート改修事業 140,000
R6年開催の全国高校総体に向けて施設整備を実施

その他の取組

物価高騰対策関連 (32事業 22億8,628万7千円)

- プレミアム付商品券発行事業(拡充) 1,300,000
- 社会福祉施設等の電気代等の価格高騰分を支援 234,000
- 認定農業者(肥料)、畜産業者(飼料)、漁業者(燃油など)等への支援 132,500
- 交通事業者事業継続支援事業[再掲] 120,000
- 省エネ家電購入促進事業[再掲] 95,000
- その他
- 新総合計画策定事業 12,600
今後の本市のまちづくりの指針を定める(次期計画期間 R7年度~)
- 名誉市民・磯崎新氏追悼関連行事の開催 16,500
追悼式典やシンポジウムなどを実施し、氏の功績を偲ぶとともに、内外に発信